

# まちの話題

Town topics

6/27  
・28

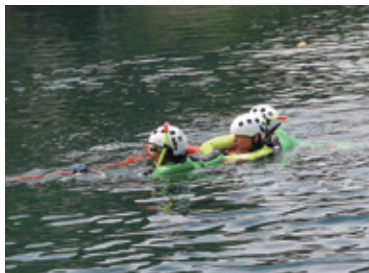
## 水難救助訓練

敦賀美方消防組合三方消防署が遊子海水浴場において水難救助訓練を行いました。

水難事故が多発する夏を前に同署員17名が2日間に渡り、ゴムボートの取り扱いや救出手順などを確認しました。

ボートが転覆し意識のない状態で浮いていると想定した訓練では、ウェットスーツに身を包んだ潜水隊員が泳いで近づき、後から到着したゴムボートに収容して救出していました。

海水浴場が多い三方消防署独自の訓練とあって、本番さながらに真剣に取り組んでいました。



6/30

## 香港から教育旅行団体来町

新型コロナウイルス感染症による入国制限等の水際措置終了に伴い、海外からの教育旅行団体の受け入れが再開しました。

今回訪れたのは香港のBishop Hall Jubilee Schoolの14歳～18歳の一行です。前日に来日し、この日は朝から福井県年縞博物館拝観後、レイククルーズに乗船して水月湖湖上で年縞について学びました。

レインボーラインでは渡辺町長らが横断幕で出迎え、山頂公園では楽しそうに記念撮影をしていました。

生徒らは世久見の民宿で宿泊し、7月5日までの滞在中には若狭高校の生徒ととの交流や町内の観光、餅つきなどの日本文化の体験をしました。



7/6

## 浜開き式

海水浴シーズンを迎えるにあたり若狭三方漁業協同組合（小川）の2階ホールにおいて、（一社）若狭三方五湖観光協会の主催で浜開き式が行われました。



今年も6か所の浜開きで、13名の観光関係者が式に臨んでいました。竹越観光協会長は「3年振りにコロナも落ち着きを見せ、5月以降少しずつ賑わいが戻ってきました。

ツーデーマーチ、海外からの教育旅行の再開と、観光客増加の期待が感じられるようになりました。海水浴場も安心安全に楽しんでいただけるよう、頑張っていきたい」と決意を述べました。



## 7/10 ブライダルデザイナー桂由美さん特別講義

講義は6月からウエディングドレスなど結婚に関して学ぶ美方高校生活情報科3年生の授業の一環として美方高校で行われ、1～3年約80人が聴講しました。11月には学んだ成果を発表する模擬結婚式も予定しています。

桂さんは戦時中、学徒動員され苦労した経験や、東京大空襲に遭ったこと、玉音放送を聞いたことなどを語り「みなさんは今本当に幸せなんですよ!」と振り返りました。

戦後高校時代に演劇に出会ったことに触れ、その後演劇はやめたものの「ウエディングドレスのデザインはドラマの要素もあり、相手はどんな人か?とか、どういう場所で式をするのか?などシチュエーションも考えないといけないので演劇の経験が役に立った」と話しました。

またデザインを勉強するため世界20カ国を視察したり、世界的デザイナーのピエールバルマンさんから「あなたは毎日その人の人生で一番美しい花嫁とウエディングドレスのデザインができて羨ましい」と言われ、震えるような感動を覚え「一生続けよう!」と思ったことを振り返りました。生徒たちは桂由美さんの一言一言に感動して熱心に聞いていました。



## 7/13 三方小学校梅干し作り体験



三方小学校6年生が、梅干し作りの工程の一つ『しそ漬け』に挑戦しました。梅農家三宅里美さんの指導のもと、しその葉を枝からもぎ、丁寧に水洗いをした後、2回塩をもみ込んでアクを抜きました。

6月に塩漬けをしていた梅の樽に、今回アク抜きをしたしそを加え、この後1か月ほど漬け込みます。

あく抜きの作業中は爽やかなしその香りが教室中を漂い、「良いにおい」と児童たちは香りも楽しんでいました。

## 7/16 プロモデル制作体験会

福井市内で模型店を営む大川節雄さんによる小学生対象のガンダムのプラモデル制作体験会が、パレア若狭で行われました。

体験会には町内外の小学生が各10名ずつの定員いっぱいの募集があり、2回に分け大盛況となりました。低学年の子どもたちには少し難しいようで手こずっていましたが、講師の大川さんにコツを聞きながら完成するまで一生懸命集中して取り組んでいる姿が見られ、ガンダムが完成すると満足そうに笑顔でながめていました。



7月9日から30日までパレア若狭ギャラリーにおいて、講師の大川さんの主宰する「フクイ・スケール・モデラーズクラブ」と、滋賀県の「高島模型クラブ」のメンバーが制作した車・飛行機・バイク・キャラクターなど、こだわりのプラモデル作品300点近くの展示会が開催されました。

## まちの話題

Town topics



## 7/17 パレア若狭 ミュージカルオーディション

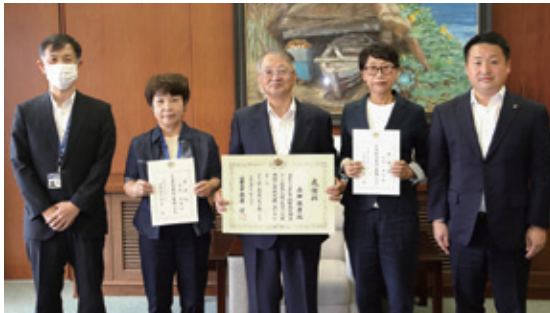
今年3月に行われた若狭町初の住民参加のミュージカル公演に続き、来年3月2日に行われる「Tomorrow, 明日はしあわせ〜ミュージカルアニーより」の公演に向け、出演者選考のオーディションがパレア若狭音楽ホールで行われました。

町内外の小学生から50代まで幅広い年代の33名がオーディションに臨み、審査員の敦賀気比高校小牧伸輔先生、美方高校石川正吉郎先生らの質問に答えた後、課題のセリフと歌を披露しました。はじめは少し緊張した様子の小学生の子どもたちも、ステージに立つと元気いっぱい大きな声で振りを交えながら歌いました。

7月末に合格発表があり、8月から公演に向け月2〜3回のレッスンを行う予定です。



## 7/20 人権擁護委員感謝状贈呈式及び委嘱状伝達式



役場三方庁舎において退任する人権擁護委員への感謝状贈呈式と、新任・再任委員の委嘱状伝達式が合わせて行われました。

感謝状は2期6年務められた山田政孝さん（相田）が、また再任の高橋香苗さん（海士坂）と新任の百田典子さん（藤井）には委嘱状がそれぞれ宮川孝徳福井地方務局敦賀支局長より手渡されました。

山田さんは「みなさんに支えられ務めることができました。近年小中学生の人権意識が高まっていることを肌で感じています。今後ともこの活動を続けていって欲しい」と挨拶しました。渡辺町長は「より安全安心で住みやすい若狭町にするため、各委員のみなさんが身近な人権の指針となっただけのよう、お願いいたします」と激励しました。

## 7/22・23 パレアサマースクール

毎年恒例となったパレ若塾パレアサマースクールが開講されました。

「ガラス工芸体験教室」では、町内外の小学生22名が参加しました。小浜市福谷でガラス工芸の工房を営む竹田恵子さんを講師に、ガラス片を飾り付け、オリジナルの鏡・ランプ・時計を作る体験教室が開かれました。

早くに定員となった人気の教室で、子どもたちは楽しそうに作業に取り組んでいました。まず、20種類はあろうかという先生こだわりのガラス片は、色とりどりのいろんな形で中には絵付けしたものもあり、迷いながらも楽しそうに選んで思い思いの作品を夢中で仕上げていきました。



「のりを付けるのが難しかった」「ランプが色々な色に変化してキレイ」など口々に感想を聞かせてくれ、出来上がった作品を大事そうに袋に入れて持ち帰りました。

竹田先生は「子どもたちの自由な発想でカラフルな作品が出来上がり、楽しんでくれたようでホッとしています」と話されていました。



「陶芸絵付け体験教室」には、町内外から19名の小学生が参加しました。熊川宿で若州窯を開いている飛永なをさんを講師に、素焼きのご飯茶碗、お皿、マグカップなどにエンピツで下書きをし、専用の絵の具で色とりどりの絵や文字を自由に描いていました。参加者の中には、こだわった細かい図柄をじっくり丁寧に取り組んでいる姿も見られました。「初めて体験したけど楽しかった」「出来上がりが楽しみです」などの声が聞かれました。

飛永先生は「絵の好きな子が多く、色とりどりの作品が出来上がっていました。指導していてもとても楽しかったです」と話されていました。

この後、作品は先生に焼いてもらい1ヶ月後には完成し、夏休みの思い出の品となる予定です。



7/21

## 三方五湖ごはんBook リニューアル

わかさ東商工会が昨年より発行している「三方五湖ごはんBook」がリニューアルしました。

わかさ東商工会 本郷 孝則さん



コロナ禍で打撃を受けた飲食店を応援しようと発行しています。今回で3回目となります。

商工会職員手分けして全店カメラマンさんと時間調整して撮影に回るなど制作は大変苦労しましたが、各店の要望など生の声をお聞きでき大変勉強させていただきました。

住民の方からは「近くにこんな店があったのか!一度行ってみたい」といったお声や掲載店からも「県外のお客様がこの本を持って来店された!」など嬉しい反響もあり喜んでます。

商工会・加盟店だけでなく道の駅などの公共施設や民宿にも置いてあります。実際に手にとってご覧ください。意外にもカツ丼を扱う店が多いとか、新たな発見があると思います。デジタル版もありますので合わせてご活用ください。

竹の子/cafe Bamboo 黒田 雄太郎さん



店に置いておくと、すぐに無くなってしまふんです。県外の方はもちろん、近隣の方でも「意外に知らなかった」との声をよく聞きます。また、うなぎやカツ丼めぐりをしている

といったお客様も見受けられました。

商工会さんがこの本を企画していただき、店としてもとてもありがたいです。地元の活性化にも役立っていると思います。今後もこれを機会に何度も訪れていただける店を目指して頑張ります。

## 診療所だより

健康や、診察・治療内容に関する情報などを掲載していきます。日ごろのお悩みや疑問についてもお聞かせください。

### 手根管症候群

症状は手の親指から薬指にかけてのしびれ感です。病気の初期は症状が夜から明け方に強くなり、手を振ることで軽減します。中年以降の女性に多いですが、手をよく使う男性にも発症します。

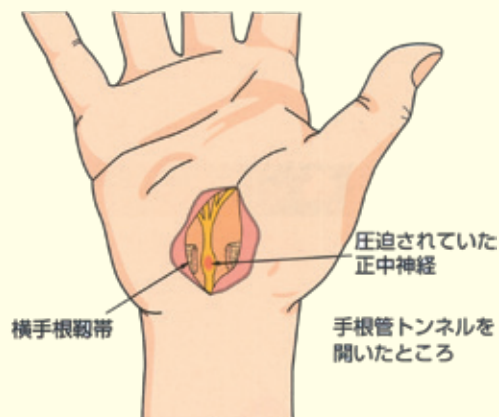
手首の手のひら側に手根管というトンネルがありますが、トンネルが狭くなり中を通る正中神経が圧迫されるために、しびれが出現します。

検査で手首の部分を押くと指先に痛みがひびくこと(ティネル徴候)や、手首を手のひら側に90度に曲げてしばらくすると症状がつよくなる(ファーレンテスト)ことで診断可能です。



軽症の時は手首の安静、外固定、内服薬の使用で軽快することが期待できます。それで改善しない場合は手術を行います。

手根管を形成している手根横靭帯を切開し神経の圧迫を取り除くことで、症状は改善します。手術時間は20分程度で、日帰りで行います。手術翌日から手の使用は可能です。



問い合わせ

健康医療課 上中診療所 ☎0770-62-1188

不要品を**ごみ**として**出す前**に

**Reuse(リユース)**再利用することで

処分費用や運搬の手間を無くせるかもしれません。



**おいくら?**

若狭町では、不要品の一括査定サービス **おいくら?** を運営している株式会社マーケットエンタープライズと地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結しました。「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。

※不要品：まだ使用できるが使わないもの(壊れて使えないもの、使い道のないものは対象外)



※再販できる品物が買取の対象となりますので、すべての品物を引き取りできるものではありません。

## **おいくら?** とは

不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼すると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができ、不要品の売却を手軽に行うことができます。

**活用できるもの**であれば、ソファなどの大型の家具だけでなく、町では回収を行っていない家電リサイクル法対象製品(テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・洗濯乾燥機)も **リユース(再利用)** することができます。

処分費用を支払って粗大ごみとして処分する前に、「おいくら」を活用して、売却することで、**リユース(再利用)** につなげられないか一度ご検討ください。

※若狭町HPから一括査定の専用サイトにアクセスできます。

一括査定はこちらから  
若狭町×おいくらのページ



【お問い合わせ】 環境安全課 0770-45-9126